

# 木原小研究だより

研究部  
令和元年 7月5日

## 原田先生・那須先生研究授業

原田先生，那須先生に授業をしていただきました。授業を通して見えてきた成果や課題，改善点を基に，日々の授業改善を図っていきましょう！

## 協議会，指導・講話の振り返り

難波先生より

- ・手順化して手放す…学習の進め方や単元の流れを見える化し，児童に任せる。
- ・沈黙を恐れない…教師の発言量を意図的に減らしていく。必要最低限にする。
- ・作品の構造を考慮する…児童が学習しているのはどこの視点からか。(図1)
- ・対話と会話と独話を区別する…区別することで授業展開が変わる。(図2)
- ・話し合うことの必然性と相手意識…どうして対話・会話・独話をするのか。



図1

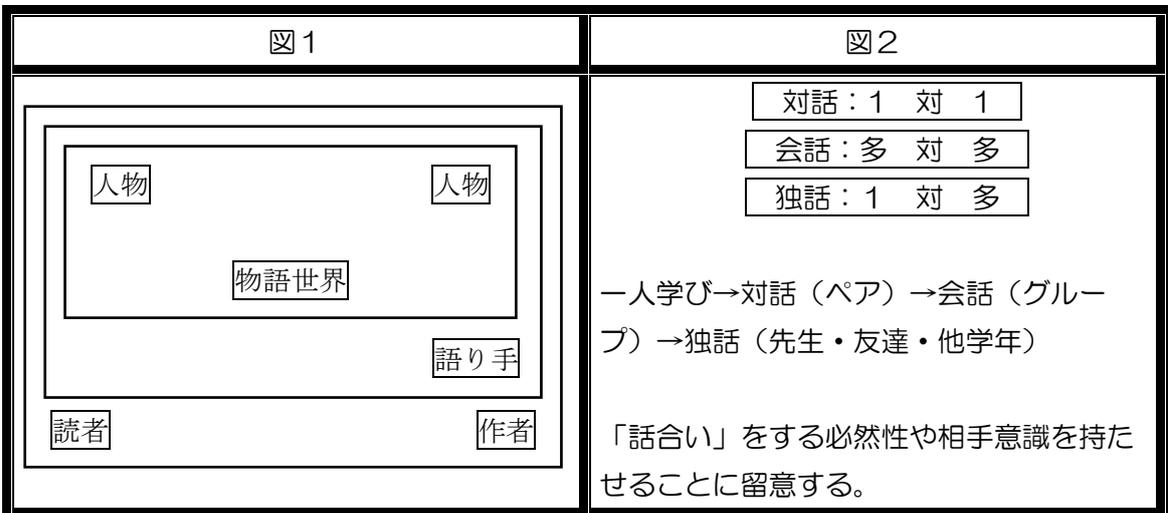


図2

対話：1 対 1

会話：多 対 多

独話：1 対 多

一人学び→対話（ペア）→会話（グループ）→独話（先生・友達・他学年）

「話し合い」をする必然性や相手意識を持たせることに留意する。

谷先生より

- 自由度を高める…子どもが本文と向き合いノートや教科書に書き込んだりする時間
- 木原小学校での「学び方」の確立…どの教員が入っても子どもたちで進められるように
- 授業の流れの可視化…低学年から取り組めば高学年では必要なくなっていく（図3）
- 教師の役目①…「自分たちで進める授業」への意味付けと価値付けを行う
- 教師の役目②…子どもたちへの肯定的評価，思考の焦点化，矛盾の突き付け



図3

①全文を読む

②リレーで読む

③めあてをノートに書く

④めあてに対する考えを書く

⑤全員発表→練り上げる・深める

⑥先生を呼ぶ→焦点化・矛盾の突き付け☆教師の出番☆

⑦めあてに対する考えを書く

③～⑦は他教科でも  
使うことができる

変更を見取る

※分からないとき，困ったときは先生を呼ぶように声を掛けておく。

井上指導主事より

- めあての設定…子どもたちの様々な考えが出るような課題を設定する。
- めあての解決…設定しためあての解決に注力させ，達成感をもたせるようにする
- 音読の工夫点の整理…声の大小，抑揚，声色などを工夫させる